



竹内靖人

「まちづくりは
人づくりは
まちづくり」

質① 職員削減により市民サービスが下がるのでは。能力の向上や専門性が求められているのでは。

答① 職員数の減で市民サービスが低下してはいけない。職員数の減に対しては民間への移行や委託、「知恵と工夫」で影響のないよう取り組んでいる。

質② 職員の能力向上や、やる気を引き出す「仕掛け」を考える必要があると思うが。

答② 真に頑張った職員が報われることは必要である。「人事評価制度」を研究しており、給与や任用等について適切で公平な制度にするため、プロジェクトチームを早急に設置し十分検討したい。

すみよいまちづくりにするには

質① 津山スポーツセンターサッカー場人工芝生化のスケジュールは。またサッカー等を市外から誘致する施策は。

答① 入札は8月上旬頃の予定で工期は9月頃から3月中と考えている。作陽高校サッカー部を初め、各団体に誘致に向けた協力をお願いしたい。

質② 優秀な人材に津山へ帰ってきて定住してもらうことは、市にとって宝だと思うが、津山で就職を希望している学生等に対する施策は。

答② 津山広域事務組合が行う就活学生登録があり、興味を持った企業から連絡が入る仕組みとなっている。既卒者については、無料職業紹介センターの専門相談員が求人企業とのマッチングを行い、Uターンへ繋げている。



近藤吉一郎

質① 行革効果を経常、事務経費に繰り入れるのではなく、収益が得られる投資に集中させればと考えるが見解は。

答① 時代に応じた事務事業を取捨選択し、市民がより必要としている事業へ予算を振り向けていくことが、将来への投資につながると理解している。

前向きな市政

質② 観光は裾野が広いので各分野の連携が必要だが、市役所内部に専門チームか、現在の観光課を予算も含めて増強すべきと考えるが見解は。

答② 組織内の連携強化はもちろん、観光施策推進に重要な役割を担う観光協会を初めとする各関係機関との連携強化、充実した対応を行っていく。



竹内邦彦